

製品名: TGFBI ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87227**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:54 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	TGFBI
別名	CSD; CDB1; CDG2; CSD1; CSD2; CSD3; EBMD; LCD1; BIGH3; CDGG1
遺伝子 ID	7045
SwissProt ID	Q15582
免疫原	ヒト TGFBI の合成ペプチド

背景

この遺伝子は、I型、II型、IV型コラーゲンに結合する RGD 含有タンパク質をコードしています。RGD モチーフは、細胞接着を調節

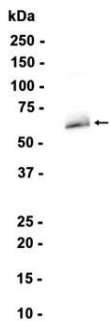
する多くの細胞外マトリックスタンパク質に存在し、いくつかのインテグリンのリガンド認識配列として機能します。このタンパク質は細胞-コラーゲン相互作用に関与し、軟骨における軟骨内骨形成に関与している可能性があります。このタンパク質は、形質転換成長因子 β によって誘導され、細胞接着を阻害する働きがあります。この遺伝子の変異は、複数の種類の角膜ジストロフィーと関連しています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ

Human fetal kidney



TGFBI ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児腎臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。